

「ゼロカーボンシティ小樽市」ロゴマークの決定について

2050 年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ小樽市」を表明している本市が、市民・事業者の皆様と一丸となりゼロカーボンシティを目指す「シンボル」となるロゴマークについて募集し、選考の結果、この度決定いたしました。

1 応募状況

- ・応募期間：令和6年7月22日（月）～9月6日（金）
- ・応募者数：108 名
- ・応募点数：133 作品（道内応募：27 名・38 作品（うち市内応募：16 名・25 作品））

2 選考方法

- ・1 次選考：市職員投票（令和6年9月13日（金）～9月20日（金））
- ・最終選考：一般投票（令和6年9月27日（金）～10月17日（木））

3 最終選考結果

投票総数：930 票（優秀賞は 187 票獲得）

4 決定作品（優秀賞）

①受賞者

大滝 このみ 氏（千葉県千葉市在住）

②作品へ込めた思い、デザイン意図

私自身が実際に関東から小樽に移住した際に強く感じた事は、水質の良さ、美味しさです。天狗山から流れ運河まで繋がる川の風景に癒され、地元で採れた魚や野菜を頂き、豊かな自然に感動しました。先人達から受け継いだ愛すべき小樽の自然・空気を守って頂きたい、守っていく一員でありたい思いで制作しました。Oの部分の模様は水面を表しています。深い藍を使うなど、全体的に小樽らしい古き良きノスタルジックさを意識しました。



5 受賞者コメント

①応募された経緯

令和3(2021)年、縁あってお仕事で小樽に移住する機会がありました。市役所の坂を越え、すぐ近くに位置する某店舗のリニューアルオープンに携わりました。その経験を通じて小樽の美しさに深く感銘を受けました。街の風景、水質の良さ、豊かな自然、空気の美味しさ、人々の温かさに触れ、毎日が感動の連続で、小樽のことがとても好きになりました。

一度地元に戻ることにりましたが、心の中では常に「何か小樽のために役立てることはないか」と思っていました。今年も観光やお手伝いで何度か小樽を訪れ、その度にその魅力を再確認していました。

そんな折、市の公式 SNS で今回の公募のお知らせを目にし、小樽への恩返しの一環として、応募を決意いたしました。このような形で小樽に関わる機会をいただき、本当に嬉しく思います。

②優秀賞を受賞した感想

この度は優秀賞をいただき、誠にありがとうございます。お電話をいただいた際は本当に驚きましたが、こういった形で貢献できることを、大変光栄に思っております。

このデザインが、小樽に溶け込むように市民の皆さまに受け入れられ、『「ゼロカーボンシティ小樽市」運動のロゴ』として広くご活用いただけることを心から願っています。また、多くの方に愛されるシンボルとなるよう願っています。

6 ロゴマークの使用について

ゼロカーボンシティ小樽市ロゴマークに関する使用基準を11月中に定め、多くの方に活用していただけるよう周知して参ります。

7 問合せ先

小樽市生活環境部環境課（担当：澤田・佐藤）

電話：0134-32-4111（内線 327） メール：kankyo@city.otaru.lg.jp